(令和3年2月分)

種 類	市況の概況
(水産物部の動向) 水産物全般	<p>2月も1月に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大に伴う、飲食店の営業自粛などの影響により、総入荷量は前年同月比で17%下回った。総取扱金額は、水産物全般で需要が低迷したことから、前年同月比で19%下回った。</p> <p>3月は、播磨灘と大阪湾でイカナゴ漁が解禁になる。この時期に取れるイカナゴは、甘辛く煮込む釘煮やかき揚げなどに調理されるのが一般的である。</p> <p>骨ごと食べられる魚であるため、カルシウムをたくさん摂取できる。また、骨の生成に欠かせないリンやそれらの吸収を助けるビタミンD、貧血予防に効果のある鉄分を豊富に含む。</p> <p>短い期間しか味わうことができないため、是非この時期に御賞味いただきたい。</p>
鮮 魚	<p>鮮魚の入荷量は前年同月比で22%下回ったが、緊急事態宣言の影響などで需要が低迷し、単価は7%下回った。</p> <p>品目別には、たら、ずわいがにの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。すずきの入荷量は前年同月並みとなったが、ホテルなどからの需要が減り、単価は下回った。</p>
冷 凍 魚	<p>冷凍魚の入荷量は前年同月比で8%下回り、単価は7%上回った。</p> <p>品目別には、冷えび、冷さけの入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。冷ずわいがにの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。</p>
加 工 水 産 物	<p>加工水産物の入荷量は前年同月比で12%下回り、単価は6%上回った。</p> <p>品目別には、塩銀さけ、塩紅さけの入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。開干さんまの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。</p>

※ 鮮魚には、貝類、淡水魚を含む。

主要品目	市況の概要
(鮮 魚) ま あ じ	長崎，高知，三重で水揚げされたものが主体となる入荷で，大型物の水揚げ量が減った影響などを受け，入荷量は前年同月比で40%下回ったが，単価は7%上回った。
ま い わ し	千葉で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で28%下回ったが，単価は小型物主体の入荷であったことから27%下回った。
さ ば	三重，千葉で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で5%上回ったが，大型物の水揚げ量が多かった影響などを受け，単価は7%上回った。
す る め い か	長崎，富山で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で35%上回ったが，単価は4%上回った。
太 物	総入荷量は前年同月比で6%下回ったが，単価は需要が低迷したことから14%下回った。
よ こ わ	長崎，富山で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で20%上回り，単価は23%下回った。
ぶ り	愛媛，長崎，鹿児島で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で27%下回ったが，単価は需要が低迷したことから前年同月並みとなった。

※ 太物：まぐろ，きはだ，めばち

主要品目	市況の概要
(冷凍魚)	
冷 さ ば	入荷量は前年同月並みで、単価は3%下回った。
冷 する めい か	入荷量は前年同月比で33%下回ったが、単価は生鮮するめいかの順調な入荷により20%下回った。
(加工水産物)	
塩 さ け	入荷量は前年同月比で8%上回り、単価は7%下回った。
す け そ う こ	入荷量は前年同月比で5%下回ったが、単価は前年同月並みとなった。